

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			状況に応じて定員、スペースを配慮・工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			長期休暇等で利用時間や人数が増えても対応ができるようボランティアも確保しています。
	3 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			事故が起こらないような動線等を配慮、また毎日の清掃と玩具の消毒法を成文化することで清潔な環境づくりを行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全職員で会議を行い目標の改善点や課題について共有化しています。
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート・評価表を定期的に配布し、結果を踏まえた話し合いを行い、改善に尽くします。
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HP等で公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	コロナ感染対策を優先し、関係者以外への入室を禁止しており、外部評価を保留しています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			自社研修や外部研修へ積極的に参加できるよう支援しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			中間評価やモニタリングの頻度を増やし、必要に応じ半年未満であっても個別支援計画を見直しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの状態を的確に共有化できるよう工夫したスタートシートや必要に応じ診断書などを提出してもらっています。
	11 支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインをもとに、家族・地域・環境に応じ必要な支援を行っています。
	12 支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画を全職員で共有化し、それにそった支援を行っています。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			どの職員が関わっても遜色無い支援ができるよう情報を共有化しています。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			環境や状況を踏まえ子どもにあったプログラムを作成します。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		一日の活動の中でも個別と集団活動をその子にあうように作成しています。	
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		子どもの様子を日誌にて詳細に記録し、業務開始前や業務終了後にミーティングを行っております。	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			都度、子ども別に全職員で支援会議を行い、発達状況を把握、判断し中間評価と計画の見直しを行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には管理者、児童発達管理責任者が担当し、ケースによっては担当指導員や保育士など必要と思われるスタッフも参画いたします。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			当該機関も含め、他事業所やその他の関係機関など必要に応じ、様々な機関と連携しながら支援しております。
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		該当児童の受け入れ実績はありませんが事業所の近隣に医療連携をしている内科、小児科があります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			学校や幼稚園などから提供された情報に基づき、支援内容を工夫しており、弊社から提供できる情報は支援計画や療育中の記録動画の提供など、移行に関する情報は全て共有できる体制を整えています。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関の研修やミーティングには積極的に参加しています。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			2021年度より自立支援協議会子ども部会メンバーに加入させていただきました。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳、お便り、電話等を活用し子どもの様子を保護者様と共有化できるよう工夫し、送迎時にもコミュニケーションをとっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			療育にペアレントトレーニングは重要なファクターと考えており、利用児童に関わる悩みのみならず、保護者様自身の疑問や悩みにも向き合い、問題解決に取り組んでいます。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約書、重要事項説明書、オリジナルポリシーブック(方針書)を利用し説明を行っております。

保護者への説明責任等	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			家族支援や地域連携も含め、適切な支援計画を作成し、保護者様に説明、同意を得て支援にあたっています。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話での相談、毎日の連絡帳の活用と送迎時に必要な報告を行っています。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			事業所の行事等を通史、ご希望に応じて保護者様同士が連携できるような取り組みをしています。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			子どもや保護者様を含め、相談や申し入れに迅速に対応できるように営業時間中は専門員を配置し、営業時間外は事業所の主回線をホットライン化しています。
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に写真やお便りにて療育の様子や行事が目で見取れるよう工夫して発信しています。連絡帳にて行事や予定をお子様の体調とともにお伝えしています。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の取扱いについてはマニュアルを作成し、職員間で共有化しています。
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			相手に寄り添い伝わりやすい手段や方法を考えた接し方を心がけています。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の方をお招きし、子どもがレストランやカフェ店員となり接客をする行事などたくさんの方と関われる楽しい催しを計画しています。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			事業所に適したマニュアルを全職員に配布し、定期的に会議にて内容確認、修正を行っています。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間計画に行事として盛り込み、定期的に行っています。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に保護者様より口頭やスタートシートにて詳細をしっかりと確認させていただき、必要な診断書を提出いただいています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			医師の診断書がある場合、保護者様より提出いただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を作成、まとめて職員間で共有化し今後の対策について会議を行っております。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員全員でマニュアル作成し、虐待を見過ごすことのないように対応をしっかりと共有化しています。またオレンジボン運動推進や活動も参加し、加盟もしております。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			現在、身体拘束が必要な対象者はおりませんが癩癢や自傷、他害など想定される状況を勘案し、他児の安全確保や毛布の常備やカームダウンエリアなど穏やかに対応できる環境があり、重度心身障害児に対し、経験豊富なスタッフの意見なども取り入れたノウハウを周知し、不測の事態が無いように体制を整えています。